

---

# 君に届けたい言葉...

花梨(´ ｀)

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君に届けたい言葉…

### 【Nコード】

N89670

### 【作者名】

花梨（、、）

### 【あらすじ】

恋愛についての凄く悲しい  
そして切ないラブストーリー

ある日に、一人の少女がいました  
その少女の名前は中原真矢（16）である

ある日に、その少女は大型のトラックに撥ね飛ばされ亡くなってし

まいります

その時にその女の子が過去に行くと言つ物語です

一部、実際に体験した事もあります

どうぞ、読んでください

## プロローグ

2010年、10月28日

午後2時39分

大型のトラックが私を撥ね飛ばした…

ゴー キキーい？

ドン？

『ごちん？』

あっ…あれっ

どうしたんだろう私…

美夜 『真矢？真矢？』

あ…そうか、

私、トラックに撥ね飛ばされたんだ…

自転車も壊れてるな…

私の目の前も赤く染まっている…

あははは…何でこうなっちゃったんだろう

私は、生まれて来なければ良かったのかなっ…

そうすれば、彼に酷い事言われる事も彼氏に振られる事もなかったのに…

最悪だな…私…

美夜 『真矢？真矢？起きてよ…死んじやいやー』

美夜…ごめんね

私、起きられそうにもない…

頭が痛くて…

眠気もあるんだ…

だからこのまま眠らせてほしいな…

勇太 『真矢？大丈夫か？』

勇太君…何で？

今さっきは、酷い事いっぱい言ってたのに

なんで、私の心配するの？

心配しないで、私を眠らせて

あっ…もう無理みたい

さようなら…美夜

さようなら…勇太

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8967o/>

---

君に届けたい言葉...

2010年11月15日16時23分発行